

GIGAスクール構想によって整備されたICT端末などの活用にあたっては、学校設置者と学校が連携の上、環境整備やICTを活用した学習指導の推進に努めることが大切です。

今号では教育委員会・学校等における1人1台端末等の利活用に向けた参考となる資料などを紹介します。

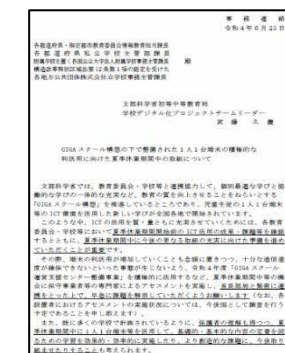
GIGAスクール構想の下で整備された1人1台端末の積極的な利活用に向けた夏季休業期間中の取組について(文部科学省通知)

児童生徒の1人1台端末及び情報通信ネットワーク等の学校ICT環境の下での新しい学びが進む中、学校等においては、夏季休業期間などの機会を捉え、これまでのICT活用の成果と課題を確認し、今後の取組の充実に向けた準備を進めることが大切です。

本通知の趣旨を改めて確認の上、校内の通信環境を確認したり、ICT活用に係る情報を収集したりすることにより、夏季休業以降においても、更なるICT活用が図られるよう、お願いいたします。

<文部科学省URL>

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/mext_01932.html



(※画像をクリックすると資料が開きます)



令和4年度 教職員・情報通信技術支援員 (ICT支援員) 著作権講習会(文化庁:8月25日開催)

近年、SNS等のソーシャルメディアの発達・普及により、誰もが簡単に多様なコンテンツにアクセスできるようになったことで、著作権に関する知識がより重要になっています。また、GIGAスクール構想によって整備された1人1台端末等の活用にあたっては、授業目的公衆送信補償金制度などを活用し、著作物を適切に利用する必要があります。

著作権に関する理解を深め、児童生徒に対する著作権の指導の充実を図るために、本講習会を積極的に御活用ください。

<文化庁URL>

<https://www.bunka.go.jp/seisaku/chosakuken/seminar/2022/>



令和4年度 教職員・情報通信技術支援員 (ICT支援員) 著作権講習会
～ 教育機関における著作物利用と知財教育 ～

今年度から、**情報通信技術支援員の職種にも対象を広く開催します!**

近年、SNS等のソーシャルメディアの発達・普及により、誰もが簡単に多様なコンテンツにアクセスできるようになったことで、著作権に関する知識がより重要になっています。また、GIGAスクール構想によって整備された1人1台端末等の活用にあたっては、授業目的公衆送信補償金制度などを活用し、著作物を適切に利用する必要があります。

このような状況において、全ての教職員等が著作権に関する正しい知識を身につけるとともに、多様な学びの中で「著作権の大切さ」を認識し理解を深める「知財教育」の推進が求められています。

日 時: 令和4年8月25日(木) 13:00～15:50
方 式: YouTube Live配信(限定公開)
※10月31日(月)までオンデマンド配信

受講料: 無料

申込期限: 令和4年7月8日(金)～8月8日(月)まで

※QRコードまたは文化庁ホームページ(著作権・クリエイティブ・コモンズ)から令和4年度講習会の「権利のウェブページ」よりご応募ください。
※参加費は無料です。定員を超えた場合は抽選となります。抽選結果は文化庁ホームページからご確認ください。
※抽選結果は7月26日(木)15:00頃までに文化庁ホームページからご確認ください。

日 程: 13:00～13:10 開講挨拶
第1部 13:10～14:30 「授業目的公衆送信補償金制度の現状と留意点」

～ 休憩 (10分) ～

第2部 14:40～15:40 「知財創造教育の実践」
～インターネット上の知識創造の現状を踏まえて～

講師: 東京学芸大学こども未来研究所教育支援フェロー 黒川 薫氏
東京学芸大学教育実践部 次長 佐藤 浩二氏
東京学芸大学教育実践部 次長 佐藤 浩二氏
2022年度より新設の「著作権」講座にフォーカスし、YouTube「部」講座の一部の「著作権」講座を、令和4年度から「知財創造教育」講座としてリニューアルいたします。

講師: 東京学芸大学こども未来研究所教育支援フェロー 黒川 薫氏
東京学芸大学教育実践部 次長 佐藤 浩二氏
2022年度より新設の「著作権」講座にフォーカスし、YouTube「部」講座の一部の「著作権」講座を、令和4年度から「知財創造教育」講座としてリニューアルいたします。

講師: 東京学芸大学こども未来研究所教育支援フェロー 黒川 薫氏
東京学芸大学教育実践部 次長 佐藤 浩二氏
2022年度より新設の「著作権」講座にフォーカスし、YouTube「部」講座の一部の「著作権」講座を、令和4年度から「知財創造教育」講座としてリニューアルいたします。

(※画像をクリックすると資料が開きます。)

今号のコラム

佐呂間町におけるICTを活用した遠隔教育の取組

佐呂間町立佐呂間小学校は、宮崎県の都農町立都農小学校とオンラインでつながり、それぞれ町のよさや修学旅行の思い出などを伝え合いました。

学習を通して子どもたちは、互いの地域や学校生活について理解を深め、「都農町の観光地について詳しく知ることができた。」「都農町の発表を聞いて、行ってみたいと思った。」などの声も聞かれました。

遠隔教育は、多様な人々とのつながりを実現し、子どもたちの学習の幅を広げることから、一層の推進が期待されます。



(双方向による意見交流の様子)

道外の優れた取組から学ぶ ～熊本県高森町におけるICT活用～

熊本県の高森町は、町の政策として教育の情報化にいち早く着手し、10年前から1人1台端末の活用を進めているICT活用の先進地です。

日常の授業では、児童生徒による課題解決学習である「たかもり学習」を展開する過程において、ICTを効果的に活用しており、実現したい学びの姿を明確にしたICT活用の取組は全国から注目を集めています。

こうした取組の発表を目的として、本年10月21日（金）には、「高森町『新たな学び』研究発表会」がオンラインで開催されます。

社会全体の情報化が進む中、遠隔地における公開研究会もオンラインで参加することが可能になりました。道外の先進的な取組から学ぶ貴重な機会として、本研究発表会を御活用ください。

本研究発表会の詳細については、次のURLから御覧いただけます。

<https://sites.google.com/tk-edu.net/kenpatsu/%E3%83%9B%E3%83%BC%E3%83%A0>

※道立学校からはChromeブラウザシークレットモードで閲覧できます。



ICT教育推進課のページ



[まずはこちらへ！](#)

ICT活用ポータルサイト



[チャットボット案内が利用できるようになりました！](#)

「みんなで研修」プログラム



[短時間でICT活用を学べます！](#)

「いつでも研修」プログラム



[1人1台端末の操作研修はこちらへ！](#)

北海道教育庁ICT教育推進局ICT教育推進課

URL <https://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ict/index.html>

